

学校運営協議会だより

第2号 事務局（通算161号）

1学期終了まであと3日と迫る中で14日（火）に2回目の「学校運営協議会」が開催されました。今回は、学校より学校経営方針や学校における安心・安全について話題に上り、その後委員による意見交換が行われました。

令和8年度 学校運営協議会委員・事務局の紹介（敬称略）

委員長 細越 淳二（国土舘大学 教授）

廣川 哲（地域関係者）

松崎 裕子（PTA会長）

佐々木 潤（元オヤジの会会長）

沖田 典昭（オヤジの会会長）

佐藤 芳秋（学校支援コーディネーター）

土本 広美（学校関係者評価委員）

佐藤 弘典（本校 校長）

【学校運営協議会報告】

1 学校運営協議会会長

それぞれの立場で子どもたちのために1学期もありがとうございました。暑くなってきましたが、子どもたちが夏休みを元気に過ごして、また、2学期も元気に帰ってきてほしいと思います。

2 校長あいさつ

校長：先週、川場移動教室に行ってきました。今年の飯盒炊爨はカレーライス作りで全グループが上手くって美味しかったと言っていました。自然教室では、1日目に足跡の痕跡などをもとにクラスごとに自分たちで考えたところにカメラを設置し、3日目に結果を確認したところ、2クラスのカメラで鹿が写っていました。5年生も6年生も宿泊のテーマに「つなぐ」という言葉が入っています。普段と違った体験をする中で子ども同士や村の方々とのつながりを感じていると思います。

3 意見交換

委員A：今年度のPTA活動の状況をまとめました。非会員の数が増えています。非会員でも協力金をいただいている方もいますが、今後、PTA活動が先細りしてしまうのではないかと考えています。

委員B：会費はいくらですか。

委員A：協力金と同じで3000円です。物価高なこともあり議論をしましたが、今年度から値上げしました。非会員は情報が少ないため、有事の際に地区班で連絡が取りづらくです。地区班に入れなくてもいいのではないかと意見もありましたが、PTA活動は全児童に対しての慈善活動ということだと思っているので入れるとしています。地区班活動をどういう活動にしていけるかが難しいです。

委員C：有事のときにPTAって何かしますか。学校は地区班が必要ですか。

校長：地区班の位置付けはないです。

委員A：PTAとしてはないですが、地区班としてはあるかと。地区班と町会がつながってほしいです。何かあった時に子どもたちを守るためにも、地区班の活動を意味のあるものにしたいです。PTAから地区班に名簿を流しています。今はメルアドと親の名前だけですが。なので、非会員は地区班の名簿に載らないので、地区班の名簿に非会員も含む全員の名簿を作れないという問題があります。

委員C：有事のときはP T Aだけでは困りますよね。

委員A：避難所運営もありますが、避難所運営もP T Aの校外担当です。本当は地区班長とつながった方が良いと思います。

委員D：町内会に入っていない人もいますよね。

校 長：学校がないときに有事があった場合は、避難所が担いますね。学校側は「未来の地域をつくる人」という思いで子どもたちと関わっています。システムだけではうまくいきませんよね。

委員D：今、地区班の活動についての問題とP T A活動についての問題の2つが生まれていますね。

委員E：子どもが家に遊びに行かせてもらったときに、P T Aツール（バンド）で「ありがとうございました」と連絡取り合ったりもしますね。各地区班もバンドの中でつながっていますね。

委員B：避難所運営も今の親世代が入った方がよいですね。

会 長：人道的、倫理的な考えと制度のところでせめぎ合っている感じですね。

校 長：今度の世田谷八幡祭礼で有志の子たちが気持ち良くソーラン節に出してくれます。そんな風に先生に言われなくても有事のときも地域のために自然に動ける子たちになると良いですね。

3 次回開催日程

9月8日（火）18：00～